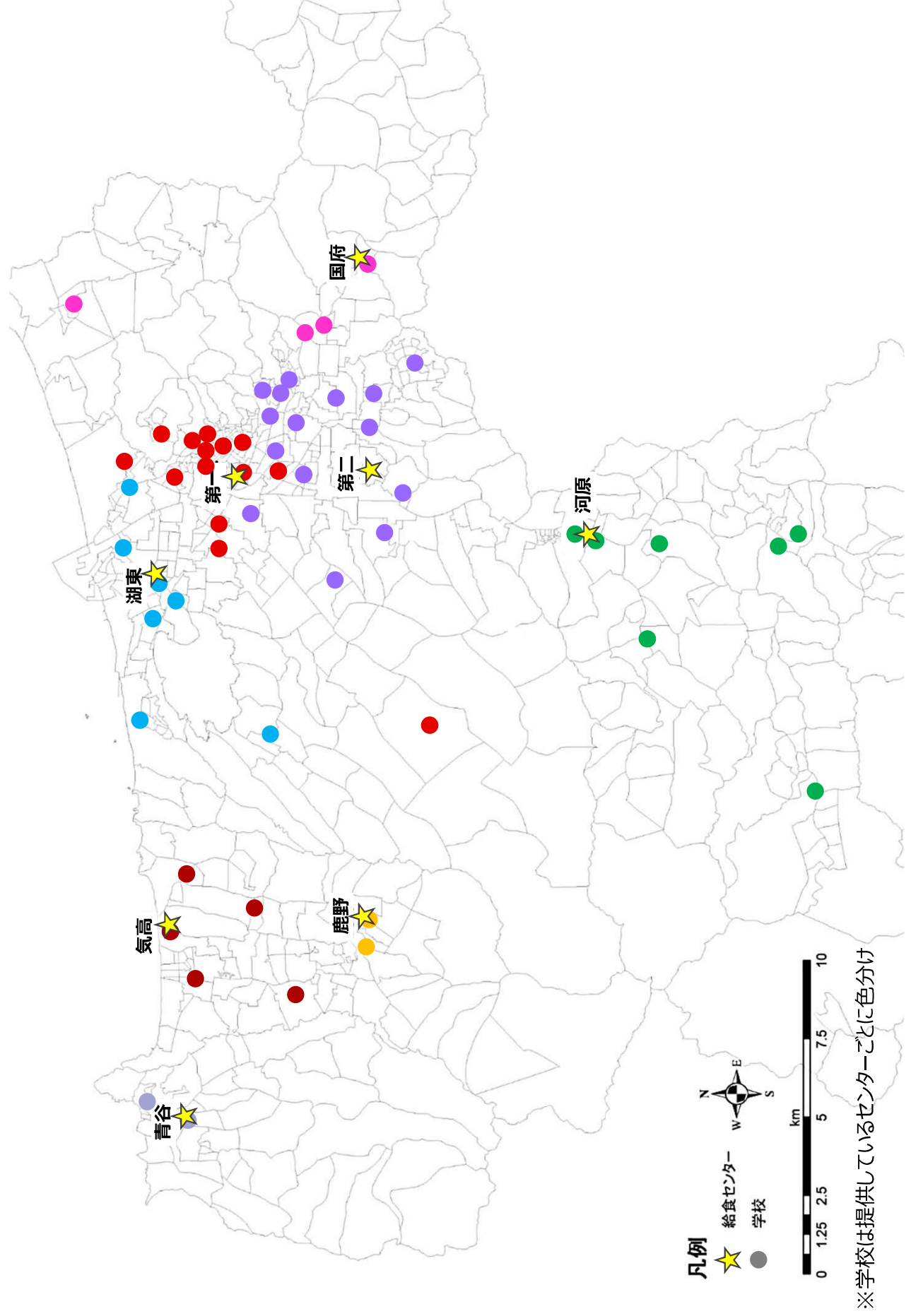


第3回

鳥取市学校給食センター整備計画
検討委員会

2021年3月25日

前提条件①鳥取市内の学校配置



※学校は提供しているセンターごとに色分け

前提条件②鳥取市内の給食センターの現状

中心部エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
第一センター	32年	4,776食	15校
第二センター	30年	5,148食	15校
湖東センター	31年	2,911食	7校
国府センター	16年	1,035食	4校



- ・第一・第二・湖東これら3箇所の給食センターはいずれも築30年以上が経過し、老朽化・設備の陳腐化は他と比較して進んでいる。
- ・提供食数は約13,000食であり鳥取市全域の80%を占めている。事業としてスケールメリットを発揮しやすいエリア。



▼第一給食センター (築32年)

南エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
河原センター	23年	888食	7校



▼河原給食センター (築23年)

- ・給食センターの統合が完了している。
- ・他の給食センターと比較すると、状態は良い。

西エリア

名称 (略称)	築年数	提供食数	受配校
気高センター	25年	663食	5校
鹿野センター	31年	266食	2校
青谷センター	26年	334食	2校



- ・鹿野センターは築30年以上が経過しており老朽化が進んでいる。
- ・各センターの提供食数を見ると、いずれも中心部エリア・南エリアのセンターと比較して少なく、効率的な運営が求められる。
- ・青谷センターは地盤沈下の恐れあり。



▼鹿野給食センター (築31年)

※提供食数・受配校は令和2年5月時点